



協会報

2024

発行日 毎月1日 通算発行 453号

1



新春を迎えて『令和6年新年あいさつ』

(一社)石川県建設業協会会長 平櫻 保

新春ご挨拶

辰年は語る



雪の金沢城公園 石川門<金沢市>

写真提供／ピクスタ

金沢城のシンボルといえる石川門は、火災による焼失後1788(天明8)年に再建された城内最古の歴史的建造物であり、国の重要文化財に指定されている。城門としての防御機能を備えながら、白壁と鉛瓦、なまこ壁の作る美観は金沢らしい意匠といえる。2001(平成13)年に金沢城公園として整備されて以降、多くの建造物が復元整備されており、2021(令和3)年度から藩主の住まいや政務の場として城の中核を担った「二の丸御殿」の復元整備事業が進んでいる。

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

発行所 ● 一般社団法人 **石川県建設業協会**

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL (076) 242-1161(代) FAX (076) 241-9258

URL: <http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2024

1



雪の金沢城公園 石川門
＜金沢市＞

1	新春を迎えて	1
	『令和6年新年あいさつ』（一社）石川県建設業協会会長 平櫻 保	
2	新春ご挨拶	
	石川県知事 馳 浩	2
	一般社団法人全国建設業協会会長 奥村太加典	3
	厚生労働省石川労働局長 長嶋政弘	4
	国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長 桑島正樹	5
3	辰年は語る	6
	鶴山市、岡 昌弘、明翫圭祐、鈴木規秀	
4	今月のトピックス	
	馳知事を囲む懇談会の開催	8
	県選出国会議員に対する要望活動	10
5	雇用改善コーナー	
	県立羽咋工業高校生との意見交換会の開催	11
	国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会主催 令和5年度「高校生の作文コンクール」入選作品の紹介	12
6	地区協会コーナー	13
	七尾城山展望台リニューアルオープン (一社)七尾鹿島建設業協会	
7	今月の「輝き！」さん No.106	14
	加州建設株式会社 やまぐちしょうた 山口 昌汰さん	
8	協会だより	
	(一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合理事会の開催	15
	建設青年委員会 全国建設青年会議第28回全国大会への参加	16
9	会員の異動	16

“未来”を創り“ふる里”を守る建設産業

一般社団法人
石川県建設業協会
GENERAL CONSTRUCTION ASSOCIATION

- ホーム
- 協会案内
- お知らせ
- 講習会・研修会
- 協会報
- 指名競争入札参加
- お問い合わせ

今月の「輝き！」さん

現場で活躍する
女性はカッコイイ

建設共済保険

建設共済保険

建設業労働災害防止協会
石川支部

“未来”を創り
“ふる里”を守る
建設産業

f t i y

YouTube

ホームページをご覧ください

新春を迎えて

『令和6年新年あいさつ』

(一社)石川県建設業協会会長

平 櫻 保



令和6年の新しい年を迎え、謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素より国、県などの行政機関の方々、建設産業関係の方々には建設産業の振興にご理解とご協力を頂き、また当協会の活動に対し格別のご高配を賜り心から御礼を申し上げます。

近年は公共事業関係費が安定して確保されるとともに、公共工事設計労務単価も11年連続で引き上げられましたが、一方で世界平和が脅かされ、円安で経済の先行きが不透明な状況が続き、建設資材、原材料価格の高騰や品薄などから地域建設業にも大きな影響が出ています。更に、全国で自然災害が激甚化、頻発化し、本県でも昨年5月に珠洲市を震源とする奥能登地震による家屋倒壊、7月には線状降水帯が発生し河北郡市を中心に多くの浸水被害がでました。令和3年度から進められてきた国土強靱化5か年加速化対策が着実に災害被害を抑制するなど効果を発揮していますが、災害時の緊急対応の更なる充実・強化が求められています。

このため、地元建設業界としても十分な施工余力を持ちながら国土強靱化対策など県民の安全・安心の確保に向け全力を挙げて対応しています。

昨年、国土強靱化基本法が改正され実施中期計画が法定化されました。自然災害に打ち勝ちインフラ老朽化対策を進めるため早期に実施中期計画を作成し、5か年加速化対策完了後においても切れ目なく、国土強靱化対策に取り組んでいただきたいと思います。

また、令和5年の総合経済対策の柱に防災・減災、国土強靱化など「国民の安全・安心の確保」が掲げられ、先の国会で補正予算が成立しました。今、景気を回復し日本を再生するには、裾野が広く経済波及効果の高い公共事業の大胆な実施が必要とされています。今年度の補正予算に加えて令和6年度当初予算においても、インフラ分野のDXを加速化し生産性を高めるとともに、インフラ整備の着実な実施と資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応するための大幅増額、切れ目のない対策により、強靱な県土づくりが進み地域経済が活性化することを期待しています。

本年4月から建設業にも時間外労働の罰則付き上限規制が適用されます。2024年問題への対応も待ったなしの状況であり、若手人材の確保、処遇改善、担い手3法の浸透など課題が山積しています。

このため県協会としても、地域建設業が新3K（給与、休暇、希望）に「カッコいい」を加えた新4K産業になれるよう、働き方改革と生産性向上を両輪として、担い手の確保・育成対策に取り組んでいます。

直接、地方自治体の首長に対して発注・施工の平準化や週休2日工事の拡大を働きかけるなど就労環境の改善に取り組むとともに、積極的にインフラDXの活用を図り、女性や若者から選択される職場づくりを目指しています。引き続き、女性部会「百万石小町『結』」の活動や建設現場で生き生きと働く姿などを写真で切り撮った「建設フォトコンテスト」の開催などを通じて広報力の強化を図ってまいります。

地域建設業が「地域の守り手」としての社会的使命を果たしていくために健全で安定した経営ができるよう、持続的・安定的な予算の確保と工事ごとに適正な利益が確保できる入札・契約制度の更なる改善を求めてまいります。

国土交通省はじめ発注機関の皆様方の一層のご指導と、全建・各都道府県協会のご支援をお願い申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

新 春 ご 挨 拶



『幸福度日本一の石川県の実現に向けて』

石川県知事 馳 浩

新年明けましておめでとうございます。

令和6年の年頭にあたり、県民の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年、石川県では、5月に富山県との共催による「G7富山・金沢教育大臣会合」が、秋には天皇皇后両陛下にご臨席いただいた「いしかわ百万石文化祭2023」が開催されるなど、県内各地が大いに盛り上がり、質の高い文化や食、高い教育レベルなど、本県の魅力を国内外に発信することができた1年であったと考えております。

一方で、5月には奥能登地震、7月には線状降水帯による大雨と、災害が相次いだところであり、県としては、引き続き、県民の安全を守る「危機管理」に万全を期してまいります。

そして、昨年9月には、石川の新たな時代を切り拓く今後10年の羅針盤となる「石川県成長戦略」を策定いたしました。

「幸福度日本一に向けた石川の未来の創造」を基本目標に掲げ、「新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり」をはじめとした6つの戦略と「デジタル活用の推進」、「カーボンニュートラルの推進」という2つの横断的戦略のもとで、38の施策を盛り込んだほか、戦略ごとの14の主要目標と施策ごとの160のKPIを設定しました。

今年を「成長戦略実行元年」と位置づけ、具体の施策や数値目標の進捗状況について、新たに設置する石川県成長戦略「ミライカイギ」において、県内各地域の次代を担う方々からご意見を伺うこととしており、こうした取り組みを通じて、成長戦略の実行性を高めてまいります。

さて、今年の3月16日には、いよいよ北陸新幹線の金沢・敦賀間が開業し、本県にとって「第二の開業」となる県内全線開業が実現します。さらに、年間を通して日本・中国・韓国が文化交流により相互理解を図る「東アジア文化都市」が、また、11月には全国最多の4回目となる「伝統的工芸品月間国民会議全国大会」が開催されるなど、昨年に続き、本県の魅力を国内外に発信し、交流人口のさらなる拡大を図る、大変重要な1年になると考えています。

このため、県では、北陸新幹線県内全線開業に向け、本県の魅力を広く発信するため、今年3月に首都圏アンテナショップを東京駅八重洲口近くへ移転させるほか、7月には北陸三県共同の新たな観光情報発信拠点を大阪駅に隣接する大型複合施設内に開設するなど、開業効果を最大限に引き出し、県内全域に波及させるべく、全力で取り組んでまいります。

また、「東アジア文化都市」に加え、GW期間中に従来の音楽祭をリニューアルして開催する「ガルガンチュア音楽祭」、さらには、昨年12月に京都府との間で締結した連携協定に基づく事業などを、国民文化祭のレガシー、いわば「ポスト国民文化祭」の取り組みに位置づけ、本県文化のさらなる振興につなげていきたいと考えております。

さらに、藩政期から受け継がれてきた厚みのある文化や里山里海をはじめとする自然など、本県の豊富で魅力ある資源をさらに磨き上げ、活用していくことが重要であり、昨年4月には、文化庁の動きにいち早く呼応し、「文化観光」と「食文化」の二つの部局横断の推進本部を全国で初めて設置したところがあります。100億円規模の「いしかわ文化観光推進ファンド」や「いしかわの食の巨匠顕彰制度」などを通じ、今後も本県独自の取り組みを推進してまいります。

新年を迎え、旧年にも増して県政に対するご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



『令和6年 年頭所感』

一般社団法人全国建設業協会会長 奥村 太加典

令和6年の新春を迎え、謹んで年頭の挨拶を申し上げます。

平素は、全建の事業活動に対し格別のご支援・ご協力を賜り、深く感謝いたします。

地域建設業を取り巻く環境は、公共建設投資の下げ止まりや設計労務単価の引上げ等により、全体として改善傾向にありましたが、昨年は、円安や世界各地における安全保障環境の悪化等に起因する資機材価格の高騰や品薄などの影響を大きく受けたほか、気候変動の影響により近年頻発化、激甚化している豪雨や台風等の災害が、全国各地で発生し、河川の氾濫等の甚大な被害をもたらした1年となりました。

このような状況の中、地域建設業は、人々が豊かで持続可能な生活を営むために必要な社会生活基盤づくりの中心的役割と、災害時の対応など人々の安全・安心を守る「地域の守り手」としての役割を果たしていかななくてはなりません。これらの社会的使命を担う建設企業は、健全でサステナブルな経営を続ける必要があります。そのためには、安定的・持続的な事業量を確保できるよう、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の確実な執行をはじめとした社会資本整備の着実な推進を、引き続き政府や関係機関へ広く訴えていかななくてはならないと考えております。

また一部で、大阪・関西万博の工事着工の遅れ等を背景に、建設業界の施工余力が乏しいと誤認する向きもあることから、公共事業の大宗を占める土木工事を中心とした建設業界の施工余力に全く問題がないことを引き続き訴えていくことも必要です。

さらには、将来の担い手確保のため、建設業で働く人々や建設業を目指す若者が、夢と誇りをもって活躍できる希望に満ちた産業となるよう、新3K（「給与」、「休暇」、「希望」）に「かつこいい」を加えた新4Kの実現に向け、働き方改革の推進や生産性の向上等を早急に進めることも重要です。

全建としましては、目前に迫った時間外労働の罰則付き上限規制の適用を見据え、週休2日と時間外労働の上限を年間360時間以内とすることを目標としている「2+360（ツープラスサンロクマル）運動」や、「工期に関する基準」に沿った見積りを行う「適正工期見積り運動」、技能者の概ね5%の賃上げ、ICT・DXの推進、広報活動の強化等に引き続き積極的に取り組んでまいります。

本年も、全建は47都道府県建設業協会並びに会員企業の皆様方と一体となり、地域建設業発展のため全力で取り組む所存でございますので、ご理解とご支援のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご多幸とご健勝を祈念し、また本会が様々な環境の変化に対応し、建設業が大きく飛躍することを願ひまして、私の年頭の挨拶とさせていただきます。



『年頭のごあいさつ』

厚生労働省石川労働局長 長 嶋 政 弘

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

石川県建設業協会の皆様には、日ごろから、石川労働局の行政運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、石川県内の雇用情勢については、昨年の有効求人倍率は1.5～1.6倍台で推移しており、求人が求職を上回る状況が続いています。このような状況にあって、石川労働局の各ハローワークでは、求人充足支援をより充実させるため、マッチング機能の強化に取り組んでいます。本年4月から障害者の法定雇用率が引上げとなることから、障害者雇用の支援策も強化しています。また、地方自治体や関係機関と連携して、就職氷河期世代、高年齢者、若者、女性など、多様な人材の活躍が促進されるよう取り組んでいます。さらに、昨年8月に貴会と締結した、県内の建設業における人材の確保等に関する取組を実施することを目的とした人材確保対策推進協定に基づく取組を進めてまいります。

加えて、最低賃金の適用や賃金の引上げに向けた支援、長時間労働の抑制、過重労働による健康障害防止に向けた取組を推進するとともに、第14次労働災害防止計画の新たな目標達成に向けた取組を進めることにより、労働者が「安全に、安心して働くことができる環境づくり」を図ってまいります。特に、本年4月に施行される建設業に対する時間外労働の上限規制への円滑な適用に向けて、貴会をはじめとする関係機関と連携し、周知・啓発に取り組んでまいります。また、「働きやすい職場環境づくり」は、企業にとって、人材不足対策としても重要であることから、その一環として、年次有給休暇を取得しやすい職場、育児・介護休業の取りやすい職場、ハラスメントのない職場、同一労働同一賃金の徹底による多様な柔軟な働き方の実現等が考えられます。そのため、法の周知、適正な履行確保に引き続き努めてまいります。さらに、活用可能な助成金のご案内のほか、あらゆる労働問題について中小企業を支援する、働き方改革推進支援センターについても、引き続き周知・利用勧奨に努めてまいります。

石川労働局では、今後も、関係機関・団体とも連携を密にし、労使・県民の皆様の期待に応えてまいりますので、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、貴会の益々のご発展と、会員の皆様のご活躍・ご健勝をご祈念申し上げて、年頭のご挨拶といたします。



『地域の安全・安心と活力のために』

国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所長 桑 島 正 樹

あけましておめでとうございます。謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

石川県は、厳しい自然条件と向き合い、この地で培われた独自の伝統・文化とともに、個性豊かな地域を形成し発展してきました。この魅力ある地域をさらに充実させて、住む人々の満足度を高め、優れた点を国内外に発信することによってさらに多くの人々を惹きつけることができると考えます。新型コロナウイルスが第5類に移行し、経済活動は少しずつ回復の兆しが見えてきています。今年の3月16日には北陸新幹線の金沢以西への延伸が予定されており、今後一層の社会経済活動の回復、発展につながるものと信じています。金沢河川国道事務所としては、以下の取り組みにより地域の発展に尽力してまいります。

治水事業では、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、砂防事業や海岸事業なども含む河川の流域のあらゆる関係者が協力して流域全体で行う治水対策、「流域治水」へ転換し、更なる深化を図ります。

また、梯川水系において令和4年8月豪雨の再度災害防止のため「梯川水系緊急治水対策プロジェクト」を国、県、市等が連携して流域治水対策を計画的に進めるとともに、特定都市河川指定により、更なる流域の治水安全度の向上を図ります。

道路事業では、北陸地方整備局が2021年4月に策定した「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」に沿って、引き続き災害に強い国土幹線道路ネットワークの構築を進め、防災・減災、国土強靱化に向けた県内の道路インフラの整備を着実に進めます。

また、大雪時には「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」とし、予防的通行規制による集中除雪や広域迂回・出控えの呼びかけを行います。

建設業協会の各位におかれましては、県民生活を支える社会資本整備、奥能登地先をはじめとする各種災害対応にご尽力されていることに敬意を表します。

当事務所は、国土交通省の治水事業と道路事業を担当する石川県内で唯一の総合直轄事務所として、協会の皆様と連携を強めながら地域の安全・安心の確保や地域の活力のために尽力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



辰年は語る

**鶴山庄市**（昭和27年5月22日生）

加賀建設株式会社 代表取締役会長

新年あけましておめでとうございます。

今年数え年72才を迎えました。若い時は70代の年齢は高齢だと思っていたのですが、自分が今その様な年齢になったんだと複雑な思いです。自分としては、もう少し頑張れるかなという思いの一方、年相応といった事も考えていかなくはといった気持ちが交錯している現状です。

時代の変化、建設業界を取り巻く環境の激しい変化にうまくマッチしていく事はなかなか大変です。

今年は出来るだけ時間を作って、長らくお休みしている海外旅行に行きたいと思っています。また、飛距離もスコアも落ちてきたゴルフも出来るだけ楽しみたいものです。



新社屋前で記念撮影（真ん中が私）

岡 昌弘（昭和27年8月15日生）

株式会社岡組 取締役会長

新年あけましておめでとうございます。

3年間のコロナウイルスのあと、世界はロシアのウクライナへの侵略戦争、イスラエルとハマスの戦争など暗いニュースが毎日流れています。そんな影響で今年はどんな年になるのか不安になってきます。

2024年は「甲辰（きのえ.たつ）」、どんな年になるのか？ネットによると「成功という芽が成長していき、姿を整えていく年である。」といわれています。少しは希望が持ててきました。

5年前に社長を優秀な社員にゆずり、取締役会長になりました。約35年間社長を務めてきて社員に承継できたことは大変幸せだと思います。しかし、体力が気のせいもあるのかだんだん衰えているのを毎日感じます。気を引き締めて、仕事と趣味に頑張っていきたいと思っています。この一年が良い年になることを祈念して、年頭の挨拶といたします。



建築委員会の研修旅行にて

明翫圭祐（昭和51年10月12日生）

株式会社明翫組 代表取締役社長

新年あけましておめでとうございます。

■今年の課題 技術力の継承

以前、社内OJT（ノート交換のようなもの）で、ベテラン監督が若手に対し、「現場では自然が相手である、自分の五感を大切に判断すること」と伝えていた。（味覚は必要ないと思うが）非常に良い言葉である。現場で何を感じるかが監督にとって、最も重要な能力ではないだろうか。京セラ名誉会長稲盛和夫氏の言葉に、仕事の結果は、能力と熱意と考え方の3つの要素の掛け算だとある。こちらを技術力に置き換えると、感じる力、創意工夫する応用力、そして、最後までやり抜く力を掛けたものが、個人の技術力になると考える。

時代の潮流であるDX化へしっかりと舵を切りながら、ものづくりへの意地と地域建設業者の矜持を忘れてはいけなと感じている。

現場では五感を大切に、応用力の研鑽に励む。休日であっても災害が起されば、昼夜間を問わず迅速に対応しやり抜く。DX化が進み、休日も増えていくことで、忘れていってしまいそうなところだが、地域を守り支える建設業者として、その気概は常に持っていきたい。



青年委員会の研修旅行で厳島神社にて（前列左から2人目が私）

鈴木規秀（昭和51年12月9日生）

鈴木建設株式会社 代表取締役社長

新年明けましておめでとうございます！本年もどうぞよろしく願い申し上げます。

昨年、弊社は創業75周年を迎えました。皆様に感謝の気持ちを持ち、引き続きこの地域の発展、そしてこの地域を守っていくために精進して参ります。

さて辰年の思い出として子どもの頃、母から「1976年の辰年は、昇り龍の年と言われ運勢が強い人が多いのよ。その年にあなたに生まれてほしかったのよ。」と言われ続けてきました。大人になって辰年の干支のことを調べてみると、昇り龍の年は1940年か2000年生まれの人たちでした。私の生まれた年は丙辰で伏龍と言われるそうです。寝ている間に大運を逃しやすいために、几帳面に物事を進める必要があるそうです。慎重に、且つ大胆に今年一年邁進して参ります！今後ともご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します！



愛犬コアと散歩中

◆ 今月のトピックス ◆

馳知事を囲む懇談会の開催

開催日時 令和5年12月18日(月) 15:30～17:20
開催場所 ホテル日航金沢
出席者 石川県 馳 浩知事、鈴木裕司土木部長、本田 琢技監
桜井 亘参事、熊田康也土木部次長、吉中雅人土木部監理課長
協 会 正副会長、県・地区協会役員 計60名

概 要

冒頭、平櫻 保会長が「6月と9月の補正に続き、12月補正でも公共事業に予算を組んでいただき感謝申し上げます。また、昨年度要望の県奨学金返還助成において、建設業を含むすべての事業所に対象企業が拡大されたことに対しても感謝を申し上げます。本日は各地区協会を含め、次年度に向けた要望をさせていただくので是非ご理解をお願いしたい。」と挨拶。続いて馳知事が「建設業協会の皆様には、県政推進にご協力いただいております。雪の季節となり、除雪では皆さんの力なくして県民の安全確保ができませんので、是非ともお願い申し上げます。昨今の自然災害等の発生に鑑み、危機管理に向けた取り組みを加速させるため、復旧・復興や治水事業、ICT化に向けた支援、人手不足対策等の万般に対して補正予算を組んでおります。国の国土強靱化5か年計画、防災・減災対策に呼応して県として積み増しをし、しっかりと地元の皆さんに仕事をお願いしなければなりません。県内の全市町を訪問して意見交換しているところであり、県と市町が連携して、各市町がやりたい事業、必要だと思っている事業を採択して進めていく。能登、金沢、加賀で必要な公共事業を推進し、建設業の皆さんが安心して地元で受注できるような環境づくりが私の役目と考えております。県民のニーズも踏まえてしっかりと取り組んでまいります。」と挨拶されました。

要望懇談では、協会側を代表し山岸 勇専務理事が要望書に基づき、公共事業予算の持続的・安定的な確保と国土強靱化対策の着実な推進、地元建設企業の受注機会の確保など7項目について要望を行いました。引き続き、各地区協会長から地域の重点的な要望事項について説明を行い、知事及び土木部幹部がこれに答える形で進められました。要望に対し県側から前向きな発言があり、詳細な回答は後日文書でいただくこととしました。鶴山庄市副会長の挨拶で閉会しました。



馳 浩知事



平櫻 保会長



懇談会会場

〈石川県建設業協会の要望事項〉

1. 公共事業予算の持続的・安定的な確保と国土強靱化対策の着実な推進
2. 地元建設企業の受注機会の確保
3. 新・担い手3法に基づいた適正な入札・契約制度の実施
 - (1) 予定価格の適正な設定と適時・適切な設計変更
 - (2) 発注・施工時期の平準化と適切な工期設定
 - (3) 最低制限価格の更なる引き上げと上限撤廃
 - (4) 資材価格の変動に対する適時・適切な対応
4. 働き方改革と生産性向上(担い手確保のための環境整備)
 - (1) 週休2日制推進に向けた環境整備
 - (2) 書類の簡素化・合理化と業務の効率化
 - (3) 県奨学金返還制度の更なる拡充
5. 安全・安心な災害活動（防災会議への参画と災害協定の見直し）
6. インフラ分野のDX推進（ICT活用への支援・充実）
7. 持続可能な除雪体制の確保

〈地区協会の要望事項〉**【加賀建設業協会】**

- ・ 県境に位置する石川県の玄関口にふさわしい道路網の整備促進について
- ・ 命と財産を守る防災・減災対策の積極的かつ着実な推進について

【小松能美建設業協会】

- ・ 地域振興と暮らしを支える道路の整備促進について
- ・ 安全・安心の確保に向けた道路・河川の整備促進について

【白山野々市建設業協会】

- ・ 地域振興と暮らしを支える社会資本整備の促進について
- ・ 安全・安心の確保に向けた防災基盤の充実について

【河北郡市土建協同組合】

- ・ 「令和5年7月豪雨災害復旧工事」の発注等について
- ・ 河北潟周辺農地防災事業に係る地元企業受注機会確保へのご支援について
- ・ 「興津残土処理場」の活用促進について

【羽咋都市建設業協会】

- ・ 災害時における緊急輸送道路として、また、安定した物流の確保を可能とするための道路網の強化について
- ・ 隣県とのアクセス性を確保し交流人口拡大と地域活性化を支援する県際道路の整備推進について
- ・ 防災・減災対策を充実・強化し、安全・安心な暮らしを支える治水対策の推進について
- ・ 地域活性化につながる海岸保全事業の推進について

【七尾鹿島建設業協会】

- ・ 道路整備の促進について
- ・ 歴史的史跡を回遊する「歴史の道」整備について
- ・ 七尾港の整備促進について
- ・ 河川改修事業の整備促進と砂防事業の継続化について

【鳳輪建設業協会】

- ・ 地域振興と暮らしをささえる広域交流幹線軸道路網の整備促進について
- ・ 砂防・地すべり・急傾斜地崩壊対策事業の整備促進について
- ・ 二級河川の適正な整備と維持管理について
- ・ 港湾・漁港の整備促進について
- ・ 越波対策並びに海岸老朽化対策について

【珠洲建設業協会】

- ・ 地域振興と安全・安心して暮らしを支える道路整備の促進について
- ・ 河川改修の整備促進について
- ・ 地震に対する防災事業の促進について
- ・ 海岸保全施設の整備促進について

【金沢建設業協会】

- ・ 安定かつ持続的な公共事業予算の確保と経営安定化への支援
- ・ 担い手の確保・育成への支援
- ・ 生産性向上への取組み
- ・ 改良土の利用拡大による循環型社会の形成

県選出国會議員に対する要望活動

(一社)石川県建設業協会（会長 平櫻 保）は、12月7日(木)、石川県選出の自民党国会議員に対し、公共事業予算の継続的・安定的な確保と地方への重点配分等4項目を要望しました。

平櫻 保会長、鶴山庄市副会長、中市勝也副会長、小中出佳津良副会長、山岸 勇専務理事、川西豊博事務局長の6名が、岡田直樹参議院議員、佐々木紀衆議院議員、西田昭二衆議院議員、小森卓郎衆議院議員、宮本周司参議院議員と面会し要望書を手渡しました。公共事業予算の継続的・安定的な確保と地方への重点配分、働き方改革の推進などを要望するとともに、防災・減災、国土強靱化対策が着実に推し進められるよう求めました。岡田参議院議員はじめ国会議員から「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策は、国の重大な責務であり、地域経済の活性化、安全安心な県土づくりに向け、必要な予算が確保できるよう、国会でしっかりと取り組んでいく。」との力強いお言葉を頂きました。

なお、国会議員への要望に先だち、平櫻会長、山岸専務理事が国土交通省 吉岡技監、廣瀬水管理・国土保全局長、丹羽道路局長等国土交通省幹部を訪れ、要望事項の説明をしました。



【要望事項】

- 1 公共事業予算の継続的・安定的な確保と地方への重点配分
- 2 防災・減災、国土強靱化対策の着実な推進
- 3 地元建設業者の受注機会の確保
- 4 適正な入札・契約制度の実施と働き方改革の推進



雇用改善コーナー

県立羽咋工業高校生との意見交換会の開催

開催日時 令和5年12月6日(水) 13:10～14:50
 開催場所 石川県立羽咋工業高等学校
 対象生徒 羽咋工業高校 建設・デザイン科 1年生26名、2年生17名
 参加者 石田工業(株)、小倉建設(株)、寺井建設(株)、南建設(株)、壁屋建設(株)、(株)山崎建設
 羽咋都市建設業協会、七尾鹿島建設業協会、県協会事務局

概 要

地元建設会社の紹介を通して建設業に対する理解を深めてもらう目的で、意見交換会を開催しました。2年生とは、グループ別に企業での取り組みや強み、携わった現場の紹介等の企業PRを行った後、普段疑問に思っていることや10月のインターンシップ体験で感じたこと等について意見交換を行いました。1年生には、建設業への興味や安全への取り組みを知ってもらうためにフルハーネス型安全帯の着用とアシストスーツの効果体験を行いました。



意見交換会



アシストスーツ効果体験

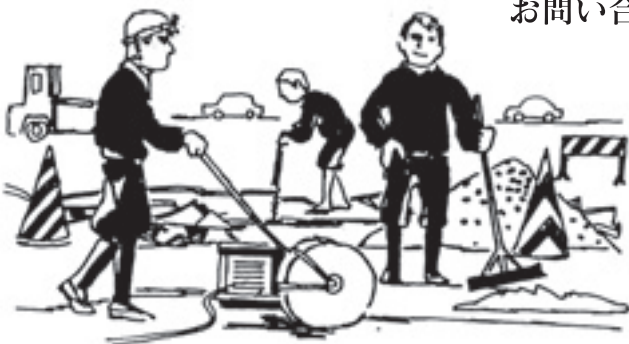
【今年度の「高校生との意見交換会」の開催状況（予定含む）】

学 校 名	開 催 日	主 催 協 会
金沢市立工業高校建築科	令和5年11月29日	(一社)金沢建設業協会
金沢市立工業高校土木科	令和5年12月14日	(一社)金沢建設業協会
県立小松工業高校建設科	令和5年12月19日	(一社)小松能美建設業協会 (一社)加賀建設業協会
県立翠星高校環境設計分野	令和6年2月又は3月	(一社)白山野々市建設業協会

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン株式会社
 損保ジャパンパートナーズ株式会社

TEL 076-231-7786

FAX 076-231-7766

〒920-0919 金沢市南町5-20

中屋三井ビル2F

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会主催 令和5年度「高校生の作文コンクール」 入選作品の紹介

国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会主催の令和5年度「高校生の作文コンクール」で、金沢市立工業高等学校土木科3年 野崎圭吾さんの応募作品「土木の魅力」が優秀賞に選ばれ、12月12日(火)、同校を訪れた国土交通省北陸地方整備局の多田英明建政部長から野崎さんに表彰状が贈られました。



写真左から多田英明建政部長、野崎圭吾さん、西東直人校長

～作文～

「土木の魅力」

金沢市立工業高等学校 土木科 3年 野崎圭吾

私は十年後、土木の分野で活躍したいと考えている。二十三歳の私は、土木技術者として働いているだろう。中学生の頃は、就職なんてまだ先の話だと思っていた。高校生になって二年が過ぎ、三か月後にはもう進学や就職を決定する時期になる。私は土木の知識をより深めるために大学への進学を考えている。そのために、土木の勉強はもちろん、その他の教科の勉強にも力を注いでいる。

私が土木技術者を目指すようになったのは父の存在があったからだ。父は趣味で家の前に小屋を建てた。当時、小屋が水平に建つように土台を測量していた。その時、父は測量を私に見せてくれた。中学生の私にも分かるように三脚の立て方のコツや、据え付けの仕方など、測量について丁寧に教えてくれた。初めて見る測量は、分からない部分もあったが夢が詰まっているキラキラしたものに感じた。なぜ、中学生の私に丁寧に説明してくれたのかは分からないが、私はその日から小屋が完成するのがとても楽しみになった。そして、小屋が完成すると、小屋は自慢のものとなった。私はその時の父の笑顔が今でも忘れられない。今まで以上に立派に見え、その時から私は土木技術者という仕事に憧れ、高校は土木科に入学した。土木を勉強した今なら、父が説明してくれたことが分かる。三脚を首の高さまでしっかり上げ、基本がしっかりしていて良い測量だった。

私は、高校生になってから土木についてたくさんのことを学んだ。登下校中に工事中の現場を見ると、「今は何の作業をしているのか」「どこの測量をしているのか」などがよく分かるようになった。また、家で土木の勉強をするのが楽しくなった。友人と学んだ測量の種類や据え付け手順、レベルの部材の名前を言い当て、もっと土木について学びたいと思うようになった。

私は今、憧れの土木技術者になるために日々勉強と向き合っている。昨年、国土交通省北陸地方整備局金沢港湾・空港整備事務所の協力のもと、港湾工事にかかわる方々との意見交換会に参加した。「土木に関わる仕事」の講義から始まり、港湾工事に関わる職人の仕事内容など様々な話を聞いた。話からは、職人さん達の仕事に対する熱意と志が伝わってきた。皆さんが誇りを持って仕事に向き合っていることが分かった。土木は一人では絶対にできない。私は、まだまだ修行中の身であり、まだ土木技術者の卵とも言えない状態だ。将来、私が目指す土木技術者になるために、今は揺るぎない丈夫な基礎づくりに邁進していきたい。

地区協会コーナー

七尾城山展望台リニューアルオープン

(一社)七尾鹿島建設業協会

老朽化のため、改修工事を行っていました「七尾城山展望台」が改修工事を終え、リニューアルオープンしました。



展望台からは、能登半島の山々、七尾湾、能登島や富山湾を挟んで立山連峰も一望できる絶景スポットです。展望台の改修と合わせて、駐車場や遊歩道も整備されました。ぜひこの機会に足を運んでください。



展望台手前には、日本百名城として、また、戦国時代の五大山城として知られる七尾城の城跡があり、百名城スタンプラリーなどで、全国各地から多くの観光客が訪れています。

七尾城跡も整備が進み、遊歩道や往時を偲ばせる石垣も清掃活動によりきれいに整備され、近年景観を妨げていた杉の伐採により、本丸からは、上杉謙信が絶賛した眺望が広がります。



上杉謙信になりきって、九月十三夜（霜は軍営に満ちて 秋気清し・・・）を詠んではいかがですか。

九月十三夜 <上杉謙信>

霜は軍営に満ちて 秋気清し

数行の過雁 月三更

越山併せ得たり 能州の景

遄莫 家郷の 遠征を思うを

【アクセス】

七尾城跡は、県道城山線終点に駐車場があります。展望台は、さらに2kmほど市道を進むと展望台入口に駐車場があり、そこから歩いても行けますが、展望台に向かう道路の鳥居をくぐって、ぐいぐいと登って、登りきったところに新しく整備された駐車場があります。

今月の「輝き！」さん

No. 106



加州建設株式会社 やまぐちしょうた 山口昌汰さん

所 属：羽咋営業所工事主任
経験年数：6年9カ月
年 齢：28歳

羽咋郡宝達志水町の営業所に「今月の輝きさん」を訪ねました。

ーあなたの会社について教えてください。

当社は昭和31年創業の建設会社で、高速道路・国道等の重要路線を始め、地域を活性化する様々な道路や施設の建設・設備、ショッピングセンター・工場等の造成・舗装等を行っています。私は羽咋営業所の工事主任として頑張っています。

ー建設業を選んだ理由、入社の際の動機等について教えてください。

小学生のころ、家の近くの道路で朝始まった工事が夕方にはとてもきれいに仕上がる仕事のスピード感に驚き、道路工事の仕事に興味を持ち始めました。自分で何か形に残る仕事をしたいと思い、大学で土木を専攻し、石川県内全域で活躍する加州建設に入社を決めました。当社は、皆仲良く、先輩後輩の別なく相談できる雰囲気があり、大変働きやすい会社だと思います。

ーこれまでで思い出に残る現場、苦労した現場はありますか？

私は6年間富山支店で勤務して今年から羽咋営業所勤務ですが、こちらで初めて公共工事の現場代理人を担当したということで、営業所近くの国道整備現場が印象に残っています。しかし、これまで経験した現場全てが優劣つけがたく、どれも自分の思い出として残っています。

ー仕事の苦労や、やりがいを感じるとき、心がけていることはありますか？

現場は、大きな工場から一般民家の敷地まで多種多様ですが、工事が終わり関係者から「ありがとう、また頼むね。」等と喜んだ顔で言ってもらえた時は、「やって良かった。」と大変嬉しく、もの造りにやりがいを感じます。現場では、常に「安全管理」を心掛けており、どんなに急いでいても安全第一の作業に努めています。

ー休日の過ごし方、趣味等について教えてください。

休日はしっかりとれるので、二人の子供と公園で遊ぶなど家族と過ごしています。小学校からバスケットボールをやっており、キャプテンを務めたこともあります。

ー将来の夢、目標は？

昔から人前に立つことが好きで、責任感があるタイプだと思いますので、それを仕事に活かし、信頼され安心して仕事を任されるよう、引き続き頑張りたいと思います。

ー最後に建設業を目指す後輩たちに一言。

ICT等で効率化も進んでいますし、どこよりも達成感ややりがいがある仕事だと思います。若い人が増えて活気ある加州建設と一緒に建設業を盛り上げましょう。



けんせつ一番星☆

[-Sunset Express-MOVE]

毎月第4火曜日 18:00~18:05

今月放送

1月23日(火)

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星☆」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

協会だより

(一社)石川県建設業協会・石川県総合建設業協同組合理事会の開催

開催日時 令和5年12月18日(月) 13:30~14:50

開催場所 ホテル日航金沢

出席者 正副会長、常任理事、理事、監事、事務局 計60名

概要

理事会に先立ち、桜井 亘
石川県参事から「砂防事業と
施工中の安全対策」と題し、
砂防事業や厳しい自然条件下
における施工中の安全対策等
について講演をいただきました。
議事では、事務局から、
今後の主な日程、令和5年度
事業執行状況、会員受注高、



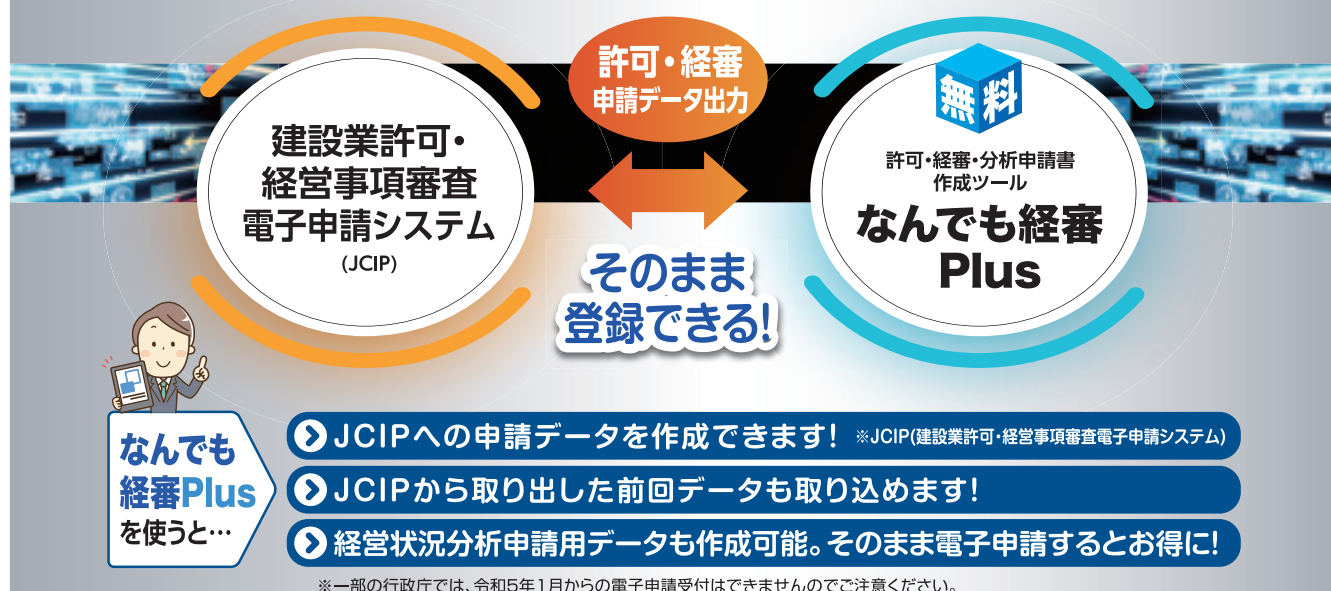
桜井参事の講演



会議状況

石川県12月補正予算の概要、建設業をめぐる最近の話題等について報告が行われました。引き続き開催された石川県総合建設業協同組合理事会では、新規入会希望者の審議が行われ、(株)向出組及び(株)ミヤジマ建設の入会が承認されました。続いて事務局から、令和5年度中間事業報告が行われました。

許可・経審の“電子申請”も「なんでも経審Plus」



登録経営状況分析機関
登録番号 1

CIIC 一般財団法人 建設業情報管理センター 東日本支部

お問い合わせ
■北海道 Tel 011-222-2688
■関東 Tel 03-6661-7427
■東北 Tel 03-6661-7214
■中部・北陸 Tel 03-6661-7524

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町14番1号 住友生命日本橋大伝馬町ビル4階
詳しい情報は <https://www.ciic.or.jp/>

または **なんでも経審Plus** **検索**

当財団は、情報セキュリティマネジメントシステム(ISO規格27001)の認証を取得しています。



建設青年委員会

◎全国建設青年会議第28回全国大会への参加

12月1日(金)午後1時30分より全国建設青年会議第28回全国大会が関東建設青年会議の主催により東京プリンスホテルにて開催されました。来賓には岸田文雄内閣総理大臣（ビデオメッセージ）をはじめ、斉藤鉄夫国土交通大臣、佐藤信秋参議院議員（ビデオメッセージ）、足立敏之参議院議員、豊田俊郎参議院議員、森 昌文内閣総理大臣補佐官、国土交通省からは吉岡幹夫国土交通省技監並びに各地方整備局調整官等16名、全国建設青年委員600名余の出席がありました。北陸ブロックからは23名、石川県からは明

翫圭祐建設青年委員長をはじめ6名が参加しました。



- ・特別講演 「未来への一步を踏み出す建設産業を支える国土交通省の取組」

国土交通省 技監 吉岡幹夫 氏

- ・基調講演 「ドボジョの働き方と建設業界の女性定着」

(一社)土木技術者女性の会 運営委員 須田久美子氏

「関東大震災がつくった東京 首都直下地震へどう備えるか」

名古屋大学 減災連携研究センター 特任教授 武村雅之氏

- ・パネルディスカッション「建設業界の未来について」

コーディネーター 長崎大学 博士（デミー博士） 出水 亨氏

パネリスト 一般社団法人全日本建設技術協会会長 大石久和氏

一般社団法人土木技術者女性の会 運営委員 須田久美子氏

名古屋大学減災連携研究センター 特任教授 武村雅之氏

全国建設青年会議第28回全国大会 大会長 靱山大介

- ・大会宣言

会 員 の 異 動

今回届け出があったのは次の1件でした。

○変更

会社名	変更前代表者	変更後代表者	変更年月日
(株)長沢組	長澤 一郎	林 晋吾	令和5年11月22日

なお、変更があった時点で届け出頂くようお願い致します。



建設事業主のみなさん

「建設技能者の人材確保・育成」「現場作業員の福祉の向上」
のために建退共制度に加入しませんか!

建設業の退職金は
日本全国どこの現場でも
公共工事も民間工事も

建退共



独立行政法人 勤労者退職金共済機構
建設業退職金共済事業本部

〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL 03-6731-2866



建退共



お問い合わせは

建退共石川県支部

〒921-8036 金沢市弥生2-1-23 (石川県建設総合センター1F)
TEL076-242-2608(代) FAX076-241-9258

ますます安心。充実の制度。



契約者割戻金制度が始まっています。

契約者
割戻金制度により
**掛金負担が
軽減**

手厚い補償

保険金区分合計
最高**5,000万円**

労働者と企業の
**リスクを
カバー**

社員と家族、会社を守るために。

建設共済保険

法定外労災補償制度

今すぐ、ご加入を!

「建設共済保険」の他にも、次のような事業を行っています。

育英奨学事業

被災者(死亡および障害・傷病3級以上)の子供に対して、要保育期間および小学校から大学までの在学期間中、返済不要の奨学金を継続して給付。

労働安全衛生推進事業

- ① 安全衛生用品の頒布
- ② 女性専用トイレ・更衣室導入費用の助成
- ③ 安全衛生推進者表彰 等

公益財団法人

建設業福祉共済団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー 11階

■ 取扱機関: (一社)石川県建設業協会
〒921-8036 金沢市弥生2-1-23
Tel. 076-242-1161 Fax. 076-241-9258



正確な掛金の試算や資料請求はこちらまで



0120-913-931

受付時間 午前 9:00 ~ 午後 5:00 (土日祝を除く)

建設共済保険 検索

<https://www.kyousaidan.or.jp/>



この冊子は、植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用した印刷物です。